

## 第2回津島市巡回バス検討委員会 会議結果

### 1 開催日時

令和7年6月23日（月） 午後2時00分から午後3時20分まで

### 2 開催場所

津島市役所3階 市長公室

### 3 出席者

別紙「第2回津島市巡回バス検討委員会出席者名簿」のとおり

### 4 議事

- (1) ふれあいバス等の利用実績
- (2) ふれあいバスに関するアンケート調査
- (3) ふれあいバスの通勤・通学対応実証実験
- (4) ふれあいバスのルートの見直し案

### 5 会議資料

- ・資料1 ふれあいバス等の利用実績について
- ・資料2 公共交通アンケート調査分析業務 調査結果 概要、参考資料1、参考資料2
- ・資料3 巡回バスにおける通勤・通学実証実験の実施について
- ・資料3-1 津島駅～津島高校 ルート図及び時刻表（案）
- ・資料3-2 新設する停留所写真資料
- ・資料3-3 青塚駅～永和駅 ルート図及び時刻表（案）
- ・資料3-4 新設する停留所写真資料
- ・資料4 ふれあいバスの見直しについて
- ・資料4-1 意見集約結果
- ・資料4-2 Aコースルート図（案）と停留所資料
- ・資料4-3 Bコースルート図（案）と停留所資料
- ・資料4-4 Cコースルート図（案）と停留所資料
- ・資料4-5 Dコースルート図（案）と停留所資料
- ・補足資料

### 6 あいさつ

#### (1) 日比会長

- ・大変お忙しい中お集まりいただき、お礼申し上げます。

- ・巡回バスのこれまでの経緯などを振り返りながら、新しい方向に向けて、より一層市民の足となり、喜んでいただける巡回バスとなるよう、皆様方の建設的な意見をお聞きしながら、前に進めていきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。

(2)磯部教授

- ・普段から委員の皆様が思っていることをいろいろと議論していけるとよいと思っている。よろしくお願ひしたい。

## 7 議題

(1) ふれあいバス等の利用実績

【事務局】

《資料1をもとにふれあいバス等の利用状況を説明》

※質疑なし

(2) ふれあいバスに関するアンケート調査

【事務局】

《資料2をもとにアンケート調査結果を説明》

※質疑なし

(3) ふれあいバスの通勤・通学対応実証実験

【事務局】

《資料3-1～資料3-4をもとに通勤・通学対応実証実験を説明》

※質疑なし

(4) ふれあいバスのルートの見直し案

【事務局】

《資料4～資料4-5、補足資料をもとに見直し案を説明》

- ・今回お渡しした資料のうち、現場写真をまとめた資料の中で、「設置箇所のご自宅へ要訪問」と記載させていただいた場所は、停留所設置箇所がご自宅の前等で、ご自宅の方のご了承をいただきたい箇所である。委員の皆様のお知り合いなどで、今回の停留所の設置についてご了承いただけないかとお話しただけの方がもしお見えになったら、ぜひご協力をお願ひしたい。ご協力いただける場合は事務局までご連絡いただきたい。

【委員】

- ・Aコースの古川町停留所を廃止する話があったが、確かに利用者数がそんなに多くない停留所だが、利用されている方も見えるので、廃止となると今利用している方がかわいそうだと思った。例えば、今の停留所がある道の一本南の道（県道名古屋津島線）が名鉄バスの路線バスが通る道のため、その道沿いに停

留所を設置することはできないか。そうすると、今古川町停留所を利用している方も、少し歩けば、新ルートのバスに乗れるようになる。

**【事務局】**

- ・今回お示しした見直し案で通るルート上に設置できないかというお話なので、一度検討させていただき、次回以降にご返答させていただきたい。

**【委員】**

- ・新たに設置する左回りの津島東高校停留所が、津島東高校の門よりも少し北側に新設する案になっているが、津島東高校の門から出て青塚駅まで向かう自転車の量がすごく多く、歩道の幅も狭いため、門より北側のバス停で待っていると危ないと思う。できれば、門の南側にある信号よりも南側に設置したほうが、通行量が少なく危なくないと思う。
- ・もう1点、神守住宅停留所を南に移設する案があったが、移設すると神守住宅から少し離れるので、名称を神守住宅南などわかりやすい名称に変更してはどうか。

**【事務局】**

- ・津島東高校の停留所について、一度現場を確認して検討させていただきたい。
- ・委員おっしゃるとおり、今回移設することで、神守住宅から離れてしまうので、名称の変更を検討させていただく。

**【委員】**

- ・Bコースの下春日台停留所について、停留所の位置を団地の中央に変えてほしいが、今後検討してもらえるのか。

**【事務局】**

- ・下見に行ったが、道が狭く難しい。団地にお住まいの方としては、団地の中心に停留所があることがベストだと思うが、道が狭いこともあり、停留所を設置できそうな場所がなかった。

**【委員】**

- ・例えば、団地の南の角の辺りや、T字路の辺り（市道鹿伏兎75号線と市道鹿伏兎100号線の交わる辺り）などに移設していただけるとありがたい。

**【事務局】**

- ・もう一度現場を見て再考させていただきたい。

**【委員】**

- ・ Aコースの右回りのルートについて、天王通5交差点を左折するのではなく、その手前の愛知銀行の信号交差点（藤浪町1）を左折して南下したらどうか。天王通5交差点は歩車分離式の信号で交通量も多いため、左折するのに時間がかかる。
- ・ 錦町のところ（県道津島停車場今市場線）は車両が少ないので、こっち（県道津島停車場今市場線）にルートを変えたほうがよいと思う。

**【事務局】**

- ・ 藤浪町1の交差点を左に曲がって、今市場町3交差点を右折するルートについて、一度現場を確認して検討させていただきたい。

**【委員】**

- ・ 右回り、左回りという表現について、内回り、外回りという表現も聞いたことがあるが、実際、どうやって表現されることが多いのか。右回り、左回りという表現で私たちはよくわかるが、もう少しわかりやすい表現があるとよいので何かいい案を考えてほしい。

**【事務局】**

- ・ 一度よい表現がないか検討してみる。

**【委員】**

- ・ Dコースについて、高台寺停留所が現在宅地から離れているため、宅地内を横断する東西の道（市道中一色金柳線）に変更してはどうか。高台寺町にお住まいの方から、宅地近くを通過してほしいという要望がある。

**【事務局】**

- ・ 事前にご提案いただいていたため、先日現場を見に行ったが、確かに東西の道（市道中一色金柳線）近くのほうが、家がたくさん立ち並んでいたため、現在の停留所の箇所より、東西の道（市道中一色金柳線）に設置できたほうが利便性がよいと思った。しかし、ご提案いただいた道（市道中一色金柳線）は道が細かく、通行が難しいため、その案は断念させていただきたい。
- ・ 今、代替案として、県道津島七宝名古屋線の白浜町交差点を右折して、テニスクラブがある前の南北の道（市道白浜1号線）をまっすぐ南下して、途中田んぼ道を通して市道金柳白浜線に出てくるルートを検討している。
- ・ ただ、懸念しているのが、この南北の道（市道白浜1号線）は通学路だが、歩道がない。通学路だとわかるように緑色でカラー塗装されているが、児童の通学の安全上問題がないか心配なため、引き続き検討させていただきたい。

**【委員】**

- ・津島駅から名鉄の路線バスで津島市民病院や市役所行ったら運賃はいくらかかるか。料金のことはこれから出てくると思うが、その参考のために伺いたい。

**【名鉄バス株式会社】**

- ・津島駅から津島市民病院までは190円である。

**【委員】**

- ・神守町や白浜町のあたりに名鉄路線バスのバス停があると思うが、そこから津島市民病院行ったら運賃はいくらかかるか。

**【事務局】**

- ・後程確認させていただきたい。

**【委員】**

- ・次回までに調べていただきたい。
- ・巡回バスの路線と、既存の名鉄バスの路線と重なるのはよくないと思う。名鉄バスが、それにつけて、もう廃止すればよいとなってしまふといけないので、やはり既存の路線は大事にしないといけないと思う。そのため、今度の料金決めるときの参考にしたいので、調べていただきたい。

**【事務局】**

- ・承知した。

**【委員】**

- ・津島東高校と津島高校の高校生向けに、日ごとの予約カレンダーを導入して、乗る人を把握したらどうかと思うが、何か計画しているか。

**【事務局】**

- ・無制限に乗車できることにすると、乗せこぼしが発生してしまう恐れがあるので、今のところ、どれぐらいの方が乗るかをコントロールしようと考えている。その方法として、今委員がおっしゃったようなアイデアはよいと思う。方法を検討する際に参考にさせていただきたい。

**【委員】**

- ・なるべく予約制にして乗る人間を把握するとロスがなくなると思うので、ぜひやっていただきたい。

### 【アドバイザー磯部教授】

- ・何点かアドバイスしたいと思う。
- ・最後の議題について、大事なことは、今回の見直しで、バスを4台にして、右回り左回りを設けるために、かなりの投資をする。そうすると、最初の議題にあったように、これだけのお金をかけて、利用者が何人いて、利用者で割り算すると乗客一人あたりの市の負担額がいくらになるという数字が表に出てきてしまう。それがどこまで許されるかという話である。
- ・より多くの方に利用してもらわないと、批判の材料になってしまうと思うので、本当にたくさん利用するようにしてほしいと思う。
- ・また、両回り運行を実施するため、バス停が増える。先ほど事務局が話していたが、バス停の設置は、地域の皆様の協力を得てようやく設置できるものである。地域の同意がなかったためにバス停が置けなかった事例もあるので、結構大事な話である。
- ・今回の見直しで両回りになって、路線も複雑になって、バス停もいっぱいになってきたときに、どうやって使ったらよいかということだが、路線図を見て自分で行きたいところを探すといっても、バスがどっち向きに走っているのかわからないので、なかなか難しい。自分が行きたい目的地までのルートをうまく検索できるものを導入して、その使い方を教えてあげるとよい。うまく検索できなかつたら、その時は個別に教えたらよい。
- ・今回の見直しで今までより複雑になり、いろんな方向にバスが動くため、複雑すぎて利用できないと言われたいよう、うまく検索できるようにすることが大事である。
- ・通勤通学ために朝夕対応するのはすごく画期的な話だと思う。本来、通勤通学対応を誰がやるべきかという話もあるが、ここは市役所が頑張って対応するという話なので、地元の企業を含め、皆さんで協力して、前向きに、いい方向に向かうとよいと思う。

## 8 その他

### 【事務局】

- ・検討委員会の議事録は、委員名簿を含め、津島市公式ホームページに掲載して公表する予定のため、ご承知おきいただきたい。
- ・次回は、令和7年9月29日（月）午後2時から、市役所3階市長公室で行うので、ご出席をお願いしたい。